

丹高ニュース

～ 豊かな学びの実現 ～

西条市ワクワク大賞受賞 ～園芸科学科草花班～

全国大会優勝レベルの市民の表彰
愛媛大学社会共創コンテストグランプリ
が認められ受賞。

スポーツなど功績表彰

西条市「大賞」1団体と4個人

スポーツや文化、学術など各分野の全国大会などを手渡した。

吉岡小学校の岩森葵
郁さん(10)、日菜多さん
(8)のきょうだいは、1
月に大阪市で開かれた
空手オールジャパン



西条市ワクワク大賞を受賞した市民ら

ヤンビオンカップの小学3年男子、小学1年女子の部でそれぞれ優勝。葵郁さんは「将来はプロのキックボクサーを目指す」とし、日菜多さんは「空手の先生になりたい」と夢を語った。

高橋市長は10月30日の表彰式で「みなさんの活躍が西条市をさらに元気にする。健康に気をつけて次の高みを目指してほしい」と受賞者にエールを送った。

（清家康尊）

（清家康尊）

ほかの受賞者は次の団体
と皆さん。

丹原高校園芸科・科学科・草花班（愛媛大社会共創コンテ
スト・地域課題部門ケラン
プリ）▽今治西高校教諭・
藤枝泉さん（ねりんピック
ク岐章・美術展洋画部門厚
生労働大臣賞）▽楠河剣道
会・向井俊二さん（全日本
高齢者武道大会剣道70・74
歳の部優勝）

令和7年11月9日(日)付け愛媛新聞 (掲載許可番号d20251110-04)

西条市合同追悼式に参加

戦後80年、平和宣言を宣誓
平和のバトンを受け取り、次世代へ協働の輪を広げました。

鎮魂・平和祈り連綿

戦没・殉職者追悼 高校生も参加

西条

戦没者や消防・警察の公務殉職者を追悼する西条市合同追悼式が、同市丹原町田野上方の市丹原文化会館であった。戦後80年を迎えた今年は、若い世代に意志を継承しようと市内

全5高校の生徒が参加。遺族らとともに黙とうをささげ、平和な未来を築くことを誓った。

市内の遺族会の会員や消防、警察関係者ら計約300人が参列。10月25日の式典で西条



西条市合同追悼式で平和宣言する丹原高2年の徳永さん(右)

高、丹原高、小松高、東予高、西条農高の生徒は、千羽鶴を遺族に手渡し、「さるさと」「春よ、来い」の2曲を参列者とともに合唱した。生徒を代表して丹原高2年徳永昂己さん(17)が平和宣言。戦争を体験していないが、事実を知らないままにはしないと「教科書で学び、記録を読み、語り部の声に耳を傾け、過去の痛みと向き合う」と誓った。また、これからを生きる世代として「命の重みを胸に刻みながら平和のバトンを受け取り、次の世代につないでいく」と述べた。

市遺族会の首藤洋会長(75)は「世代を超えた協働の輪を広げ、平和の尊さと大切さを継承するため、精いっぱい取り組んでいく」と語った。(清家康尊)

令和7年11月8日(土)付け愛媛新聞 (掲載許可番号d20251110-05)